書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和４年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

1　事業の成果

2022 年度も、新型コロナウイルス感染症により活動が制限される環境下であったが、当法人の専門性を活かしつつ、安全に配慮しながら事業を継続した。

①まちづくり、ものづくり支援事業

・4 回目となる「インクルーシブデザインアイデアソン」（ユーザー参加型のデザインワークショップ）を、9 月 15 日（木）～17 日（土）、芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催した。ユーザー（障害者 5 名）、企業の企画開発者、デザイナーなど 14 社 21 名、芝浦工業大学学生 10 名が参加、5 チームに分かれて、ユーザーに寄り添ったインクルーシブデザインの製品やサービスを考案・発表いただいた。3 年振りの対面での開催で、濃密かつ有益なワークを行っていただき、参加者アンケートでの評価も概ね「満足」だった。

https://incl-design.net/ideathon2022report/

・オンライン形式の講演&意見交換会である「インクルーシブ・テーマトーク」を 3 回実施し、会員を中心にそれぞれ約 50～100 名を超える方に参加いただいた。これはインクルーシブな社会づくりに向けた「テーマ」を各回で設定し、それに関する講演と参加者の業種横断的なディスカッションにより、新たな知見やチャネルの構築、共創活動を支援することを目的とするものである。

第 1 回 7 月 5 日（火）　テーマ：「CSUN カンファレンス 2022」にみるインクルーシブデザインの最新動向と日本の課題（講演者：インクルーシブデザインネットワーク顧問）

第 2 回 10 月 4 日（火）　テーマ：「UD・インクルーシブデザインにおける新たな活動と世代間の共創に関して」（講演者：ビーラインド プロジェクト、大阪工業大学院生、芝浦工業大学学生）

第 3 回 2023 年 2 月 7 日（火）　テーマ：「誰もが等しく直面する『ヒアリングフレイル』の理解とその対応策について」（講演者：聴脳科学総合研究所）

https://incl-design.net/themetalk-2022-2-report/

②人材育成、高齢者・障害者活動支援事業

小中学校向けの「子どもユニバーサルデザイン（UD）授業」を継続実施。武蔵村山市では、学校からのご要望もいただき、武蔵村山五中（11 月 25 日（金））、武蔵村山一中（12 月 17 日（土））、村山学園（小学部）（3 月 14 日（火））の 3 回実施し、それぞれ地元社会福祉協議会とボランティアスタッフのご協力により、高齢者・障害者体験授業を行った。また、8 月 2 日（火）、3 日（水）、武蔵村山市社会福祉協議会主催の「夏休み自由研究」に協力し、「ユニバーサルデザイン講座」を実施。初めての地域開催で、異なる学校、学年で、子どもたちも参加することができた。

昨年度より開始した愛知県豊田市での「子ども UD 授業」は、今年度も豊田市社会福祉協議会、トヨタ自動車㈱の協力により、豊田市立飯野小学校で実施した。6 月 7 日（水）、9 日（月）、21 日（火）、7 月 19 日（火）の 4 回、6 年生の総合授業の一環として、「ユニバーサルデザイン教育」を実施した。

https://incl-design.net/kidsud2022/

③その他調査研究、普及啓発事業

法人ホームページでの定期的な情報発信に加え、会員専用ページを活用し、活動内容や成果の共有を行っている。

https://incl-design.net/

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　（事業費の総費用【 1,628 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
①まちづくり、ものづくり支援事業	インクルーシブデザインアイデアソン	9/15～17	芝浦工業大学豊洲キャンパス	10人	企業のデザイナー、障害者	42人	1,347
	インクルーシブ・テーマトーク	7/5,10/14, 2/7	オンライン	6人 （延べ）	デザイン関係者	約200人 （延べ）	
②人材育成、高齢者・障害者活動支援事業	子どもUD授業	8/2,8/3,11/25,12/17, 3/14	東京都武蔵村山市	45人 （延べ）	小学生、中学生、保護者、先生	350人 （延べ）	267
		7/6,9/5,20,10/18	愛知県豊田市	5人	小学生、先生	188人 （延べ）	
③その他調査研究、普及啓発事業	ホームページでの活動紹介によるインクルーシブデザインの啓発	随時	法人事務所	2人	一般	不特定多数	14

（2）その他の事業　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）

書式第１３号（法第２８条関係）

事業報告用

令和４年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】経常収益		
1　受取会費		2,286,000
正会員受取会費	2,286,000	
賛助会員受取会費	0	
2　受取寄附金		0
受取寄附金	0	
施設等受入評価益	0	
3　受取助成金等		0
受取補助金	0	
4　事業収益		1,404,580
まちづくり、ものづくり支援事業収益	1,387,007	
人材育成、高齢者・障害者活動支援事業収益	17,573	
その他調査研究、普及啓発事業収益	0	
5　その他の収益		49
受取利息	49	
経常収益計		3,690,629
【B】経常費用		
1　事業費		
（1）人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
（2）その他経費		1,627,931
業務委託費	90,000	
諸謝金	518,042	
会議費	75,757	
旅費交通費	581,118	
通信運搬費	7,370	
消耗品費	266,291	
修繕費	33,000	
保険料	3,500	
租税公課	50,229	
雑費	2,624	
事業費計		1,627,931
2　管理費		
（1）人件費		0
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
（2）その他経費		384,393
会議費	0	
旅費交通費	24,223	
通信運搬費	121,712	
消耗品費	347	
保険料	6,860	
諸会費	2,000	
支払手数料	229,251	
管理費計		384,393
経常費用計		2,012,324
当期経常増減額　【A】－【B】　・・・①		1,678,305
【C】経常外収益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額　【C】－【D】　・・・②		0
税引前当期正味財産増減額　①+②　・・・③		1,678,305
法人税、住民税及び事業税　・・・④	[redacted]	70,000
前期繰越正味財産額　・・・⑤		4,643,894
次期繰越正味財産額　③－④+⑤		6,252,199

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

令和４年度　貸借対照表

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	6,249,679	
未収金		
棚卸資産		
前払費用	18,360	
流動資産合計 ・・・①		6,268,039
2 固定資産		
（1）有形固定資産		
車両運搬具		
什器備品		
（2）無形固定資産		
ソフトウェア		
借地権		
（3）投資その他の資産		
敷金		
長期貸付金		
固定資産合計 ・・・②		0
【A】資産合計 ①+②		6,268,039
【B－1】 負債の部		
1 流動負債		
未払金	840	
預り金	15,000	
流動負債合計 ・・・③		15,840
2 固定負債		
長期借入金		
退職給付引当金		
固定負債合計 ・・・④		0
負債合計 ③+④		15,840
【B－2】 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	4,643,894	
当期正味財産増減額	1,608,305	
正味財産合計		6,252,199
【B】 負債及び正味財産合計 【B－1】＋【B－2】		6,268,039

書式第１６号（法第２８条関係）

令和４年度　計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

１．　重要な会計方針

計算書類の作成は、ＮＰＯ法人会計基準（2010年７月20日　2017年12月12日最終改正　ＮＰＯ法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

(2) 固定資産の減価償却の方法

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

・　　引当金

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

２．　事業別損益の状況

（単位：円）

科目	まちづくり、ものづくり支援事業	人材育成、障害者活動支援事業	その他調査研究、普及啓発事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
１．受取会費		1,137,000	1,137,000		2,274,000		2,274,000
２．受取寄附金		6,000	6,000		12,000		12,000
３．受取助成金等					0		0
４．事業収益	1,387,007	17,573			1,404,580		1,404,580
５．その他収益		25	24		49		49
経常収益計	1,387,007	1,160,598	1,143,024		3,690,629	0	3,690,629
Ⅱ　経常費用							
(1) 人件費							
給料手当							
役員報酬							
退職給付費用							
福利厚生費							
・・・・・・・・・・							
人件費計	0	0	0		0	0	0
(2) その他経費							
業務委託費	90,000				90,000		90,000
諸謝金	496,000	17,042	5,000		518,042		518,042
会議費	75,757				75,757		75,757
旅費交通費	368,436	207,846	4,836		581,118	24,223	605,341
通信運搬費	7,370				7,370	121,712	129,082
消耗品費	231,144	35,147			266,291	347	266,638
修繕費	26,400	3,300	3,300		33,000		33,000
保険料	3,500				3,500	6,860	10,360
諸会費						2,000	2,000
租税公課	46,145	3,574	510		50,229		50,229
支払手数料			263		263	229,251	229,514
雑費	2,099	262			2,361		2,361
その他経費計	1,346,851	267,171	13,909		1,627,931	384,393	2,012,324
経常費用計	1,346,851	267,171	13,909		1,627,931	384,393	2,012,324
当期経常増減額	40,156	893,427	1,129,115		2,062,698	-384,393	1,678,305

3．　施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

（単位：円）

内容	金額	算定方法

4．　使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は　　円ですが、そのうち　　円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は　　円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計					

5．　固定資産の増減内訳

（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具						
什器備品						
・・・・・・・・・・						
無形固定資産						
・・・・・・・・・・						
投資その他の資産						
敷金						
・・・・・・・・・・						
合計						

6．　借入金の増減内訳

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7．　役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

（単位：円）

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
（活動計算書）			
活動計算書計			
（貸借対照表）			
貸借対照表計			

8．　その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・　事業費と管理費の按分方法

・　その他の事業に係る資産の状況

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

令和４年度　財産目録

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
三井住友銀行普通預金	6,249,679		
未収金			
棚卸資産			
前払費用	18,360		
流動資産合計 ・・・①			6,268,039
2 固定資産			
（1）有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
（2）無形固定資産			
ソフトウェア			
借地権			
（3）投資その他の資産			
敷金			
長期貸付金			
固定資産合計 ・・・②			0
【A】資産合計 ①+②			6,268,039
【B－1】負債の部			
1 流動負債			
未払金			
通信運搬費	840		
預り金			
前受金	15,000		
流動負債合計 ・・・③			15,840
2 固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計 ・・・④			0
【B－1】負債合計 ③+④			15,840
【B－2】正味財産合計 【A】－【B－1】			6,252,199

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和４年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人
インクルーシブデザインネットワーク

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	(理事)・監事	（ニシカワ　マサヒロ） 西川　昌宏		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
2	(理事)・監事	（コグレ　タカオ） 木暮　毅夫		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	(理事)・監事	（フジキ　タケシ） 藤木　武史		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	(理事)・監事	（イナガキ　ノリヨ） 稲垣　典世		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	(理事)・監事	（イワザキ　アキヒロ） 岩﨑　昭浩		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	(理事)・監事	（オクダ　タカコ） 奥田　高子		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
7	(理事)・監事	（セリザワ　カズヤ） 芹澤　和也		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
8	(理事)・監事	（フジイ　ヒロミ） 藤井　浩美		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
9	(理事)・監事	（モリ　ジュンイチ） 森　淳一		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日
10	理事・(監事)	（ツタタニ　クニオ） 蔦谷　邦夫		令和4年 4 月 1 日 ～ 令和5年 3 月31 日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク

	氏　　名	[redacted]
1	西川　昌宏	
2	木暮　毅夫	
3	藤木　武史	
4	稲垣　典世	
5	岩﨑　昭浩	
6	奥田　高子	
7	芹澤　和也	
8	藤井　浩美	
9	森　淳一	
10	蔦谷　邦夫	
11		
12		